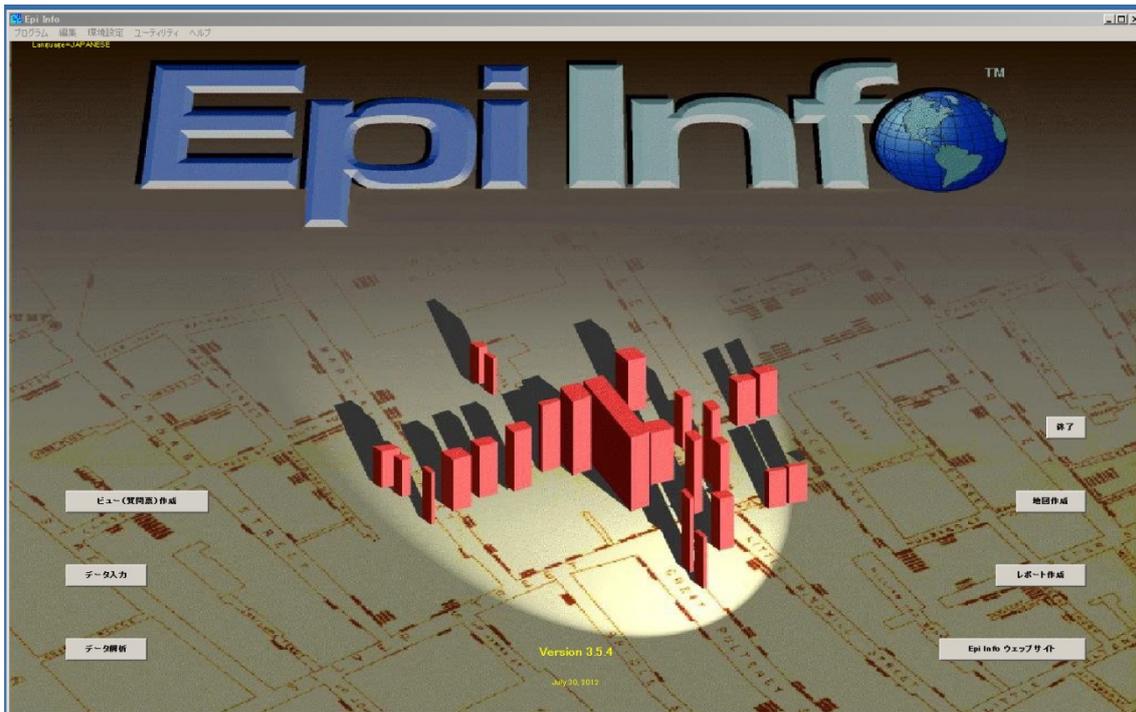


2013/04/23

Epi Info™ 3.5.4 July 30, 2012

の日本語版インストールの手引き

岡山理科大学 山本英二



目次

I 日本語版プロジェクトの概要

- 1. はじめに 2
- 2. Epi Info™ 3.5.4 日本語版について 3

II インストール

- 3. Epi Info™ 日本語版HP 4
- 4. Epi Info™ 3.5.4 のダウンロード 5
- 5. Epi Info™ 3.5.4 のインストール 6
- 6. Epi Info™ 3.5.4 日本語版パッチの適用 11

I 日本語版プロジェクトの概要

1. はじめに

感染症・食中毒事件等のアウトブレイク調査では調査の企画実施のマネジメントが重要ですが、そこではデータの収集、分析が伴います。この過程をITで支援するための疫学ソフトウェアが、CDCの開発したEpi Info™です。マウスによるメニュー操作で調査票の作成、データ入力からデータ解析、さらに疫学地図の作成までが実行できます。データ解析ステップでは、一度行った解析手順を保存することにより、同じ解析手順を呼び出し繰り返し実行することが出来、ルーチンの作業には便利です。

Epi Info™ は2000年の発表以来、頻繁なバージョンアップを行い、2012年7月30日に現行版Epi Info™ Version3.5.4が公開されました。現行版は日本語環境で安定したシステムです。

2000/??/??	Epi Info™ 2000 First version
2001/11/02	Epi Info™ 2000 V.1.1.2
2002/09/16	Epi Info™ 2002 Second version
2003/01/30	Epi Info™ 2002 Revision
2003/10/31	Epi Info™ V.3.0.0 Third version
2003/11/18	Epi Info™ V.3.0.1
2004/01/22	Epi Info™ V.3.2
2004/02/04	Epi Info™ V.3.2 patched
2004/04/14	Epi Info™ V.3.2.2
2004/10/05	Epi Info™ V.3.3
2005/02/09	Epi Info™ V.3.3.2
2007/04/30	Epi Info™ V.3.4
2007/07/09	Epi Info™ V.3.4.1
2007/11/08	Epi Info™ V.3.4.3
2008/06/09	Epi Info™ V.3.5
2008/08/13	Epi Info™ V.3.5.1
2010/12/17	Epi Info™ V.3.5.2
2011/01/26	Epi Info™ V.3.5.3
2012/07/30	Epi Info™ V.3.5.4

現行版 Epi Info™ Version3.5.4 は Windows XP(SP3), Vista(DHTML Editing Control for Applications), Windows 7(DHTML Editing Control for Applications),に対応しています。300MHz CPU, 260MB HD, 128MB RAM で稼働しますので、最近のデスクトップPC, ノートPCなら十分稼働します。疫学調査の企画、実施、解析、報告までの全てを支援するソフトで、調査票の作成、データ入力、データ解析、疫学地図作成、報告書作成が行なえます。またチュートリアルが充実していて、食中毒事例、感染症事例、サーベイランス事例が学べます。CDCでは、疫学研修に、Epi Info™ を活用していて、また世界中の国が利用出来るように各国語対応が可能なシステムを提供しています。第3.5.4版の日本語最新版はXP 2012年4月25日版、VistaWin7 2012年4月25日版が国立感染症研究所感染症疫学センターHPに掲載してあります。

感染症疫学センターHP : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

2. Epi Info™ 3.5.4 日本語版(2012/04/25) について

日本での実務者の利便性を考えると日本語化が必要でしょう。日本語化プロジェクトを谷口（感染研），山本（岡山理大），中瀬（岡山市），津田（岡大）で組織し，CDC のスタッフに協力いただきました。他に統計解析やシステムに詳しい専門家にも協力をいただき現在も日本語化を進めてきました。当初，第2版：Epi Info™ 2002 の各国語対応の行い方マニュアルを参考に日本語化を進めましたが，日本語全角コードの利用に問題が生じました。第3版ではかなり改善され，第4版でグラフの日本語表示が解決され，2008年の第5版：現行版 Epi Info™ V.3.5.4 の XP 日本語版(2012/04/25)，Vista 又は Windows 7 日本語版(2012/04/25)ではほぼ問題ありません。

現段階での成果は以下の通りです。

- a. メニュー，ボタン，画面表示，入力，出力の日本語化。
- b. エクセルデータの利用可。
- c. XP では，STATCALC の動作不可（英語でも不可）を，システムを改良して動作可にする。
ただし STATCALC 自体は英語 DOS 版で英語環境での利用。
Vista, Windows 7 では，自動的に英語 DOS 環境を選択して動作する。
なお，64bits PC では，STATCALC は作動しません。Epi Info™ 7 の STATCALC を利用ください。
- d. チュートリアル日本語化と日本事例チュートリアルの作成・追加。
- e. 調査票作成，データ入力，データ解析，地図作成ステップでの日本語環境整備。
- f. 日本語ヘルプの充実を行う。
- g. これらの成果を日本語化パッチソフトとして作成。
Epi Info™ 3.5.4 に日本語化パッチを当てるだけで，日本語版が使える。
- h. インストールでの 3.5.4 版日本語版使用マニュアルの作成。
- i. データ解析，調査票作成，データ入力，地図作成ステップでの日本語版使用マニュアルの作成。
- j. 感染研感染症疫学センターHPでの公開。

ここでは，みなさんが職場や自宅で Epi Info™ 3.5.4 日本語版（Epi Info™ 3.5.4j）を自分のパソコンにインストールして使える環境を作る作業と基本的な使用法を紹介しましょう。

II インストール

3. Epi Info 日本語版HP

感染症疫学センターHP : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> の画面で **EpiInfo** をクリックしてください。以下の画面が現れます。

Epi Info 日本語版

疫学調査の企画、実施、解析、報告までの全てをアシストするソフトで、調査票作成、データ入力、データ解析、地図作成、報告書作成が行えます。またチュートリアルが充実していて、食中毒事例、感染症事例、サーベイランス事例が学べます。CDC では、疫学研修に、Epi Info を活用していて、また世界中の国が利用出来るように各国語対応が可能なシステムを提供しています。2012年7月30日に EpiInfoTM 3.5.4(2012/07/30) がリリースされました。英語版は3.5.4ですが、引き続き日本語パッチ 3.5.3 を適用ください。XP には、Epi info3.5.3 XP 日本語パッチ [jpatchXP353.exe\(2012/04/25\)](#)をお使い下さい。Vista, Windows 7 には、Epi info3.5.3 VistaWin7 日本語パッチ [jpatchVistaWin7353.exe\(2012/04/25\)](#)をお使い下さい。なお、StatCalc(分割表解析)は、64ビットPCには対応してません。CDCは最新のIT技術を取り入れた、新しい構成の Epi InfoTM 7 (最新版 7.1.1.14は2013/02/07)を2011年10月31日にリリースしました。今回の Epi InfoTM 7 は Visual Dashboard を用いて、画面操作をより柔軟に使える工夫をしています。これで、DOS版の Epi InfoTM 6, 静的な画面の Epi InfoTM 3.5.4, 動的な画面の Epi InfoTM 7 と3種類並列の提供となりました。Epi InfoTM 7 の Visual Dashboard (データ解析モジュール)の日本語パッチを作成しましたのでご利用ください。

※PDF ファイルを開くためには AcrobatReader が必要です。

Epi Info 3.5.4 日本語版

[Epi InfoTM 3.5.4\(2012年07月30日リリース・63.5MB\)のダウンロード](#)

[Epi Info 3.5.3 XP 日本語版パッチ\(2012/04/25・17.7MB\)のダウンロード](#)

[Epi Info 3.5.3 VistaWin7 日本語版パッチ\(2012/04/25・17.7MB\)のダウンロード](#)

Epi Info 3.5.4(3.5.3)のインストール、日本語パッチの適用方法に関しては次の手引き書を参考にしてください。

[Epi Info 3.5.4 日本語版インストールの手引き\(2013/04/23\)](#) (PDF ファイル・1,451KB)

Epi Info 3.5 日本語版 データ解析、質問票作成、データ入力、地図作成の各モジュールに関しては次の各手引きを参考にしてください。

[Epi Info 3.5.3 日本語版手引き基礎\(2011/04/01\)](#) (PDF ファイル・1,043KB)

[Epi Info 3.5.3 日本語版手引き応用\(2011/04/01\)](#) (PDF ファイル・851KB)

[Epi Info 3.5.4 日本語版質問票作成手引き\(2013/04/21\)](#) (PDF ファイル・973KB)

[Epi Info 3.5.4 日本語版データ入力手引き\(2013/04/22\)](#) (PDF ファイル・499KB)

[Epi Info 3.5.4 日本語版地図作成手引き\(2013/04/22\)](#) (PDF ファイル・768KB)

CDC テキスト : Epi Info によるアウトブレイク調査 Using Epi Info in an Outbreak Investigation の翻訳テキストを作成しました。クラステキストに、自習書に利用下さい。

[Epi Info によるアウトブレイク調査\(2008/04/01\)](#) (PDF ファイル・2,350KB)

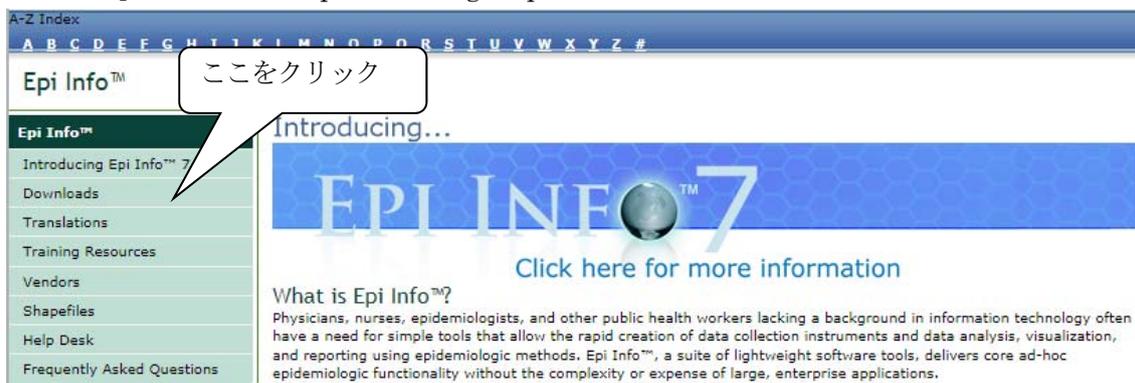
[Epi Info によるアウトブレイク調査\(元本\) \(2005/09\)](#) (PDF ファイル・3,746KB)

[Epi Info によるアウトブレイク調査 \(データ\) \(2005/09\)](#) (ZIP ファイル・249KB)

4. Epi Info™ 3.5.4 のダウンロード

EpiInfo 日本語版 HP の Epi Info 3.5 日本語版のコーナーから
[Epi Info™ 3.5.4\(2012年07月30日リリース・63.5MB\)のダウンロード](#)
をクリックしてください。

CDC Epi Info のHP <http://www.cdc.gov/epiinfo/> にアクセスします。



“Downloads” をクリックするとダウンロード画面になります。



“Previous Versions” をクリックすると、 Epi Info™ 3.5.4 の案内画面が現れます。

システム要件として、Windows XP には Service Pack 3 のインストール、Windows Vista、Windows 7 には DHTML Editing Control for Applications のインストールが必要です。Windows XP Service Pack 3 が必要の方は、“Windows XP Service Pack 3.” をクリックし、Microsoft のサイトからソフトをダウンロードして、インストールください。

DHTML Editing Control for Applications が必要な方は、Epi Info をインストールした後に、Epi Info のフォルダ (C:\Epi_Info) に格納されているファイル : DHTMLEd.msi をクリックしてインストールください。

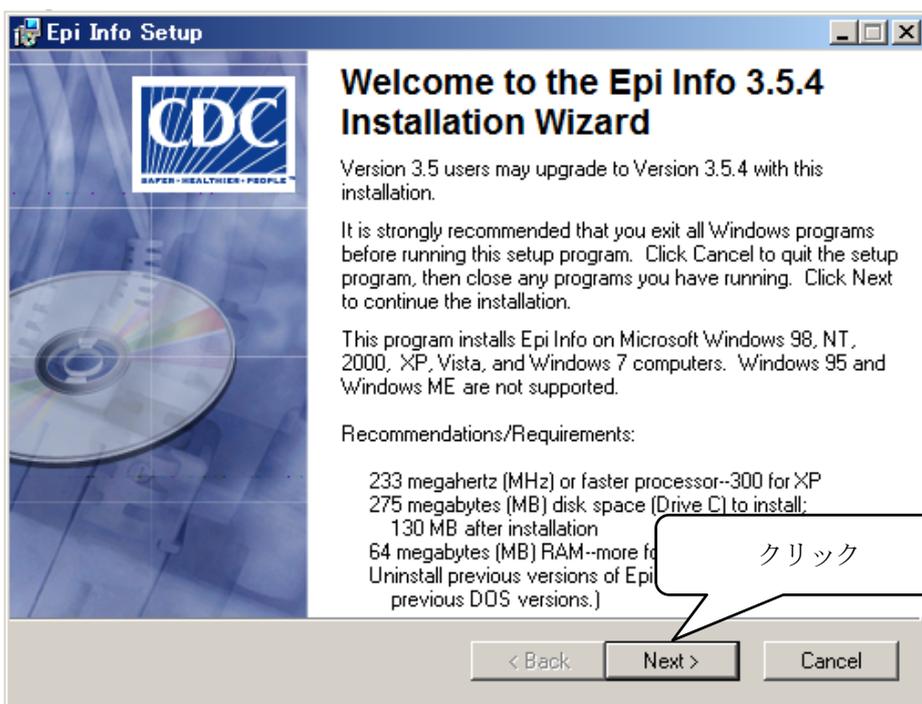


Epi Info™ 3.5.4 の案内画面に ” Download Epi Info™” がありますから、それをクリックします。ファイルをコンピュータに保存するために、 ボタンをクリック。setup.exe をダウンロードします。76.1MB もありますからダウンロードに時間がかかりますね。どなたかダウンロードしたものを USB メモリーやCDで利用する手があります。ダウンロードが終了しましたら、CDCのホームページを閉じてください。準備完了です。

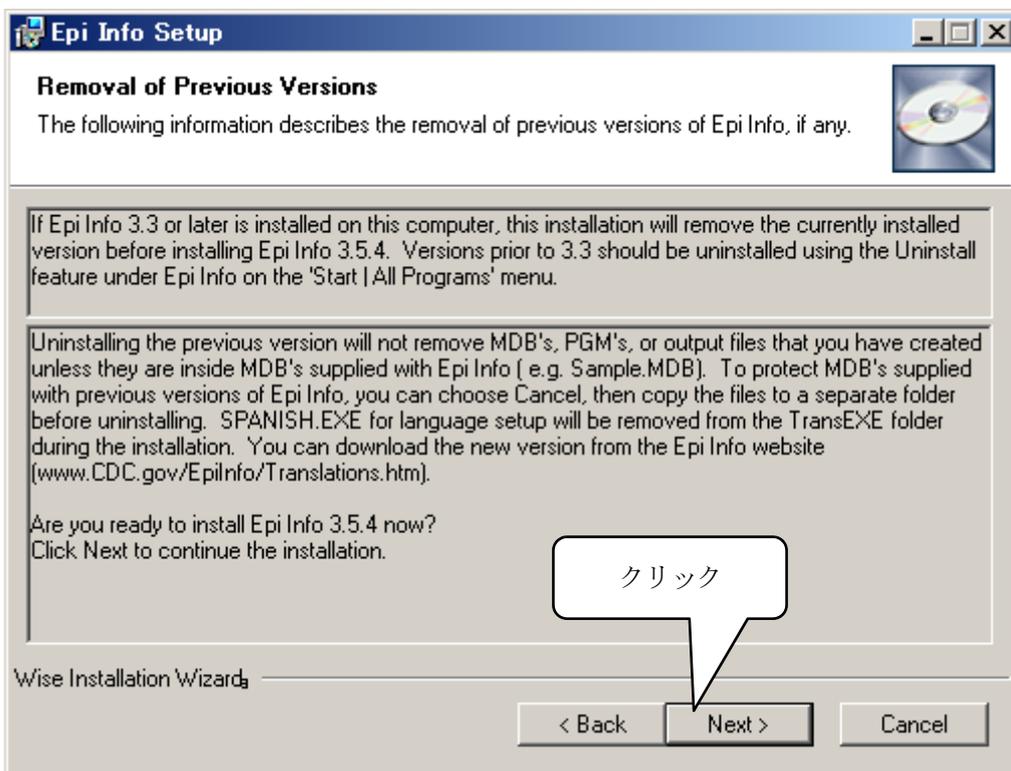
5. Epi Info™ 3.5.4 のインストール

古いバージョンの Epi Info がインストールされている場合はまずそれをアンインストールしてください。スタート/プログラム/Epi Info/Uninstall Epi Info をクリックすればアンインストール出来ます。さらに C:\Epi_Info のフォルダ内のファイルを削除して、フォルダだけ残してください。では保存した setup.exe をダブルクリックしてください。インストールウィザードが起動しますので、手順に従って作業を進めてください。

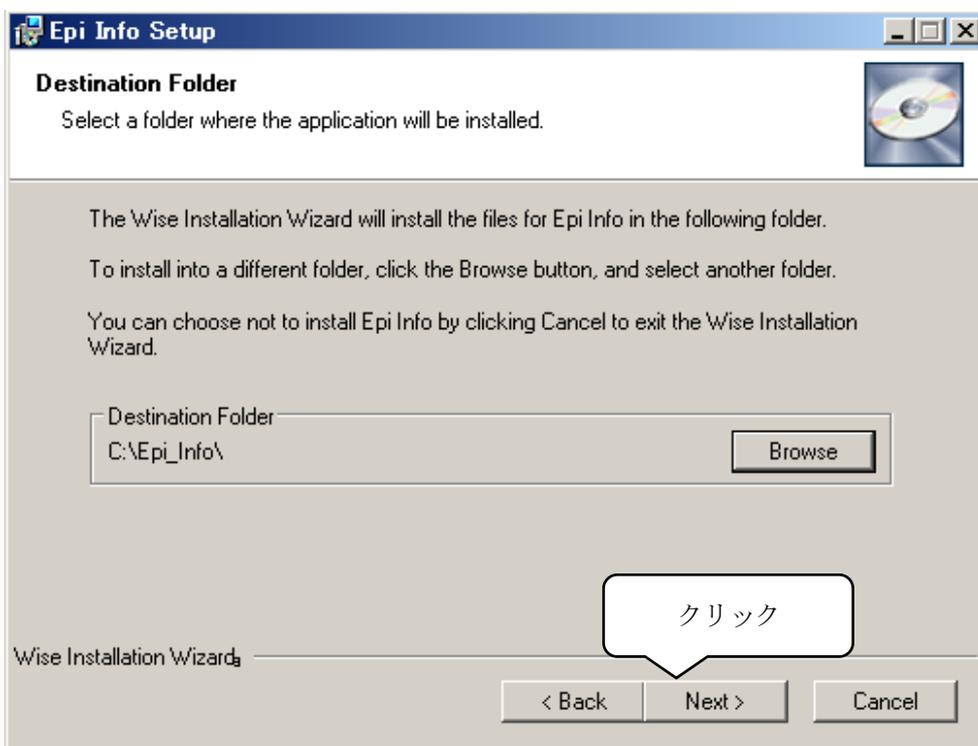
第1画面：PCに必要な条件が載っています。問題なければ、**Next** をクリック。



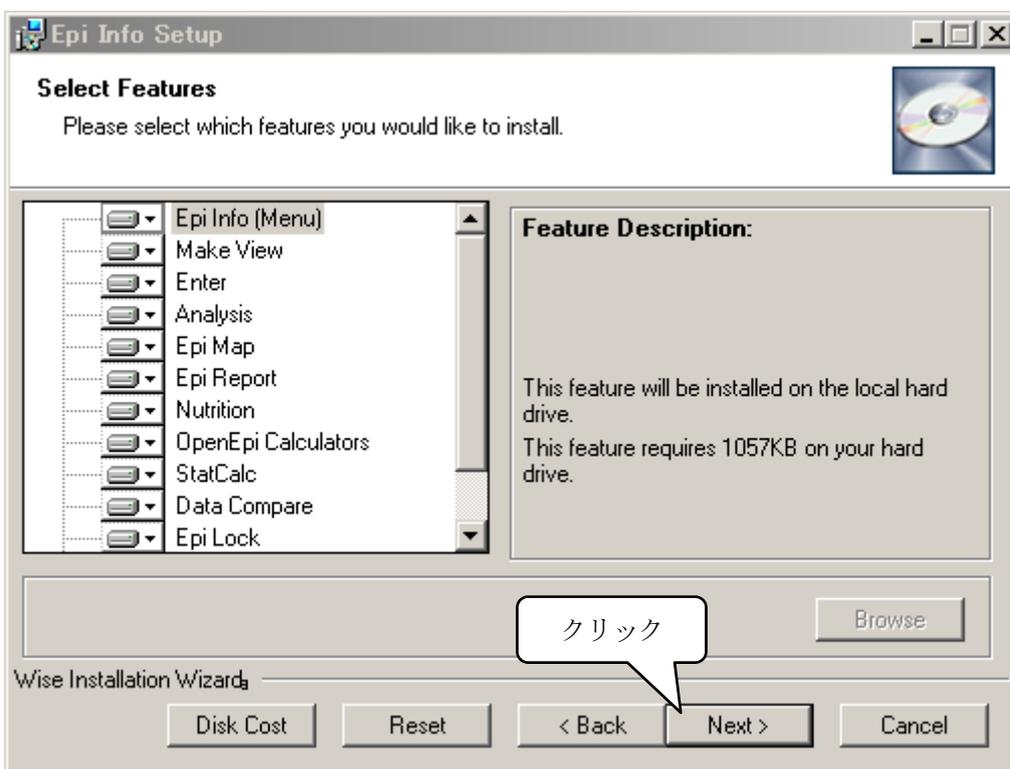
第2画面：旧バージョンの削除を注意しています。削除済みですので、**Next** をクリック。



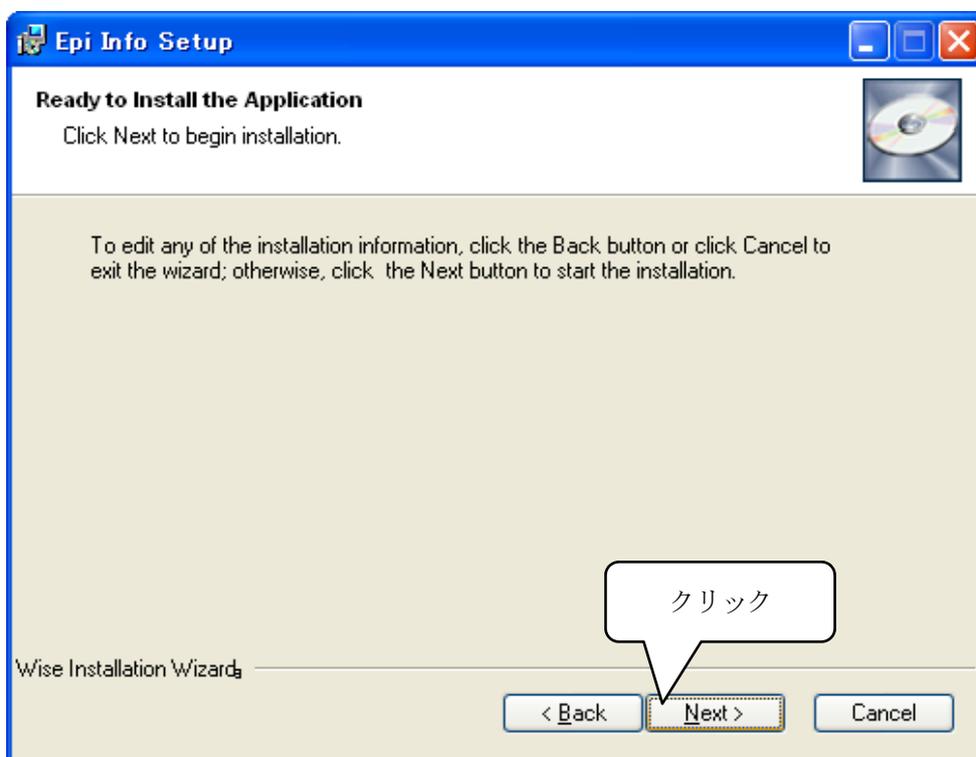
第3画面：インストールする場所を聞いてきます。標準は C:\Epi_Info です。C:\Epi_Info が無い場合は Destination Folder に直接書いて下さい。良ければ、**Next** をクリック。



第4画面：インストールする部品です。標準は全てですので、このまま**Next** をクリック。



第5画面：準備が出来ました。 **Next** をクリック。インストールが始まります。

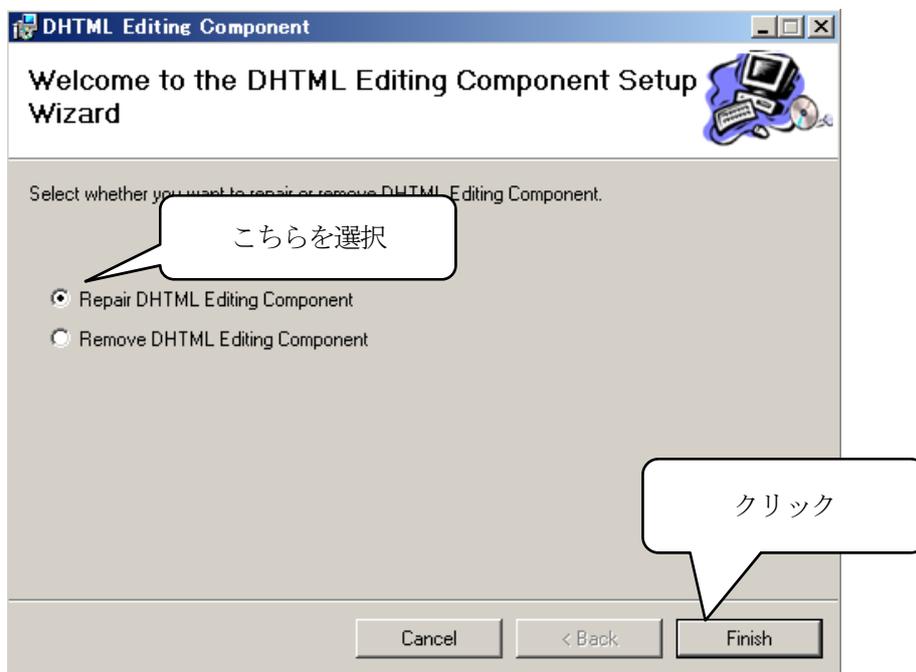


第6画面：インストールが終わると、次の終了画面に移ります。

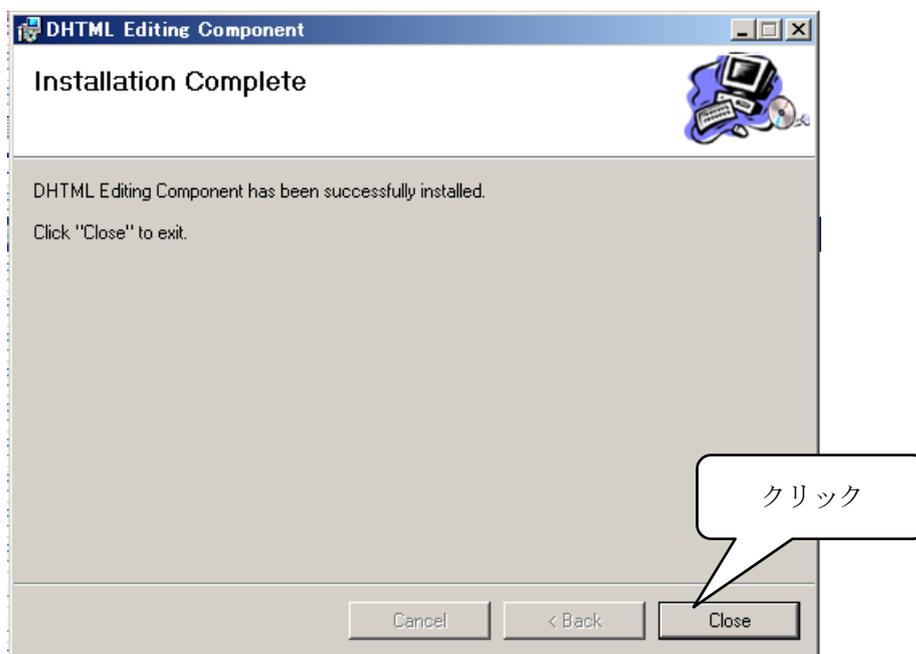


Finish ボタンをクリックです。

第7画面：Vista, Windows 7 の場合は, DHTML Editing Control for Applications のインストールが必要なので, Epi Info のフォルダ (C:\Epi_Info) に格納されているファイル: DHTMLEd.msi をクリックしてインストールください。



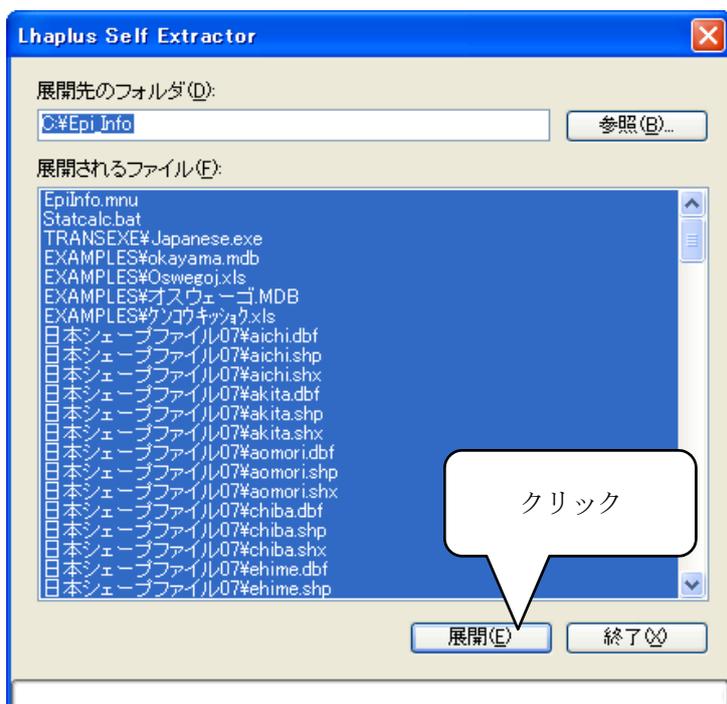
Repair 修理を選んで, **Finish** ボタンをクリックすると, インストールが行われ,



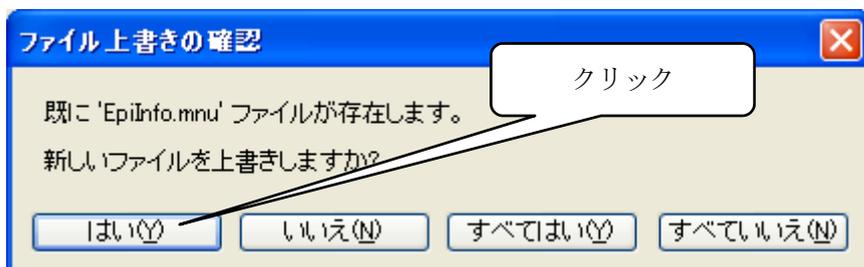
Close ボタンをクリックすると, 準備完了です。

6. Epi Info 3.5.3 日本語版パッチの適用

英語版がインストール出来ましたから、日本語が使えるようにパッチを当てましょう。英語版は 3.5.4 ですが、日本語パッチ 3.5.3 が問題なく当てられます。EpiInfo 日本語版 HP の Epi Info 3.5 日本語版のコーナーから、XP には、[Epi Info 3.5.3 XP 日本語版パッチ\(2012/04/25・17.7MB\)のダウンロード](#)， Vista, Windows 7 には、[Epi Info 3.5.3 VistaWin7 日本語版パッチ\(2012/04/25・17.7MB\)のダウンロード](#) をクリックしてください。保存した日本語版パッチファイル jpatchXP353.exe 又は jpatchVistaWin7353.exe を Epi Info のフォルダ C:\¥Epi_Info にコピーし、ダブルクリックして解凍ください。ファイルは上書きが必要です。

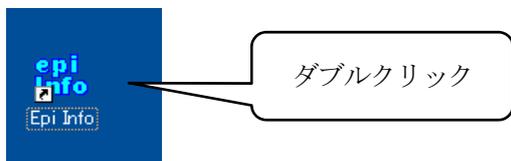


上のウインドーの **展開** ボタンをクリックすると、XP の場合は



の画面が出ますから、**はい** をクリックすると、2つのファイル EpiInfo.mnu, Statcalc.bat と3つのフォルダ EXAMPLES, TransEXE, 日本シェーブファイル07 が新規書き込み、又は上書きされます。Vista, Windows 7 の場合は、2つのファイル EpiInfo.mnu, Statcalc.bat は存在せず、3つのフォルダ EXAMPLES, TransEXE, 日本シェーブファイル07 のみが新規書き込みされます。

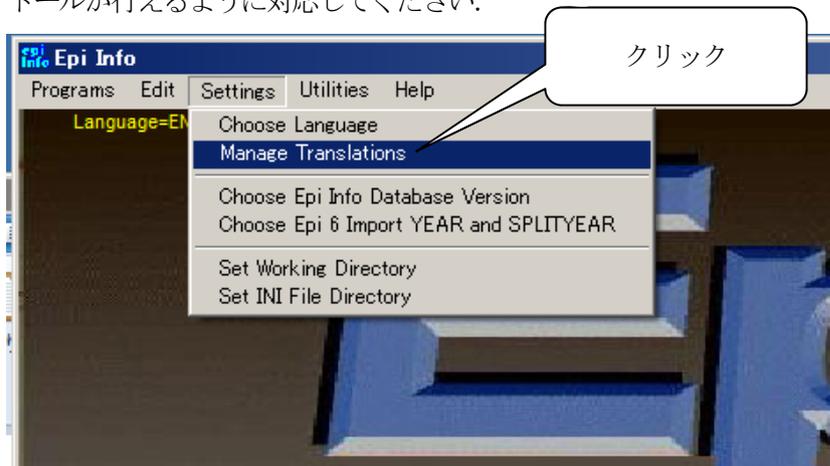
これで準備ができました。ではデスクトップの Epi info アイコンをダブルクリックするか、「スタートボタン」をクリックして、プログラムの中にある Epi info を選択してください。

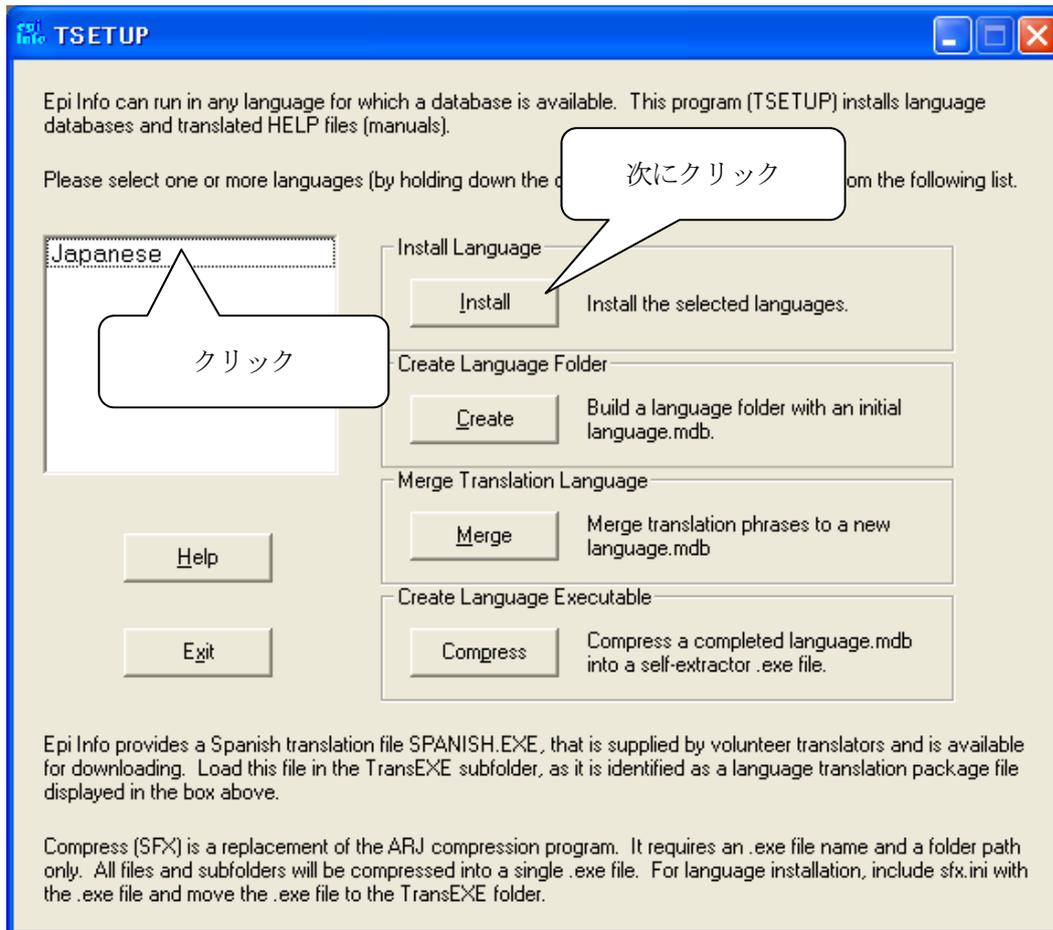


Epi Info™ 3.5.4 英語版が起動し、次のトップページが現れます。

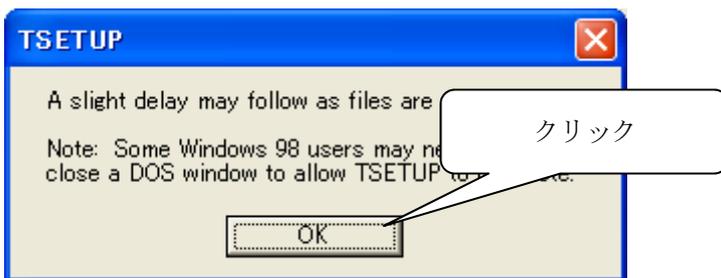


メニューバーのメニュー **Settings** から プルダウンメニューの **Manage Translations** より TSETUP 画面を起動します。認証の確認やアドミニスター権限の確認が行われる場合は、インストールが行えるように対応してください。

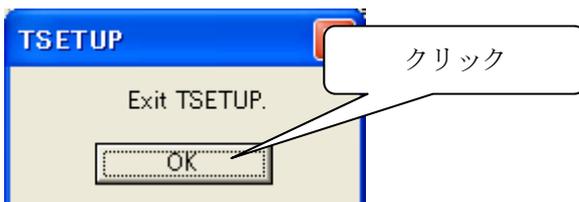




Japanese をクリックして選んで **Install** ボタンをクリックしてください。



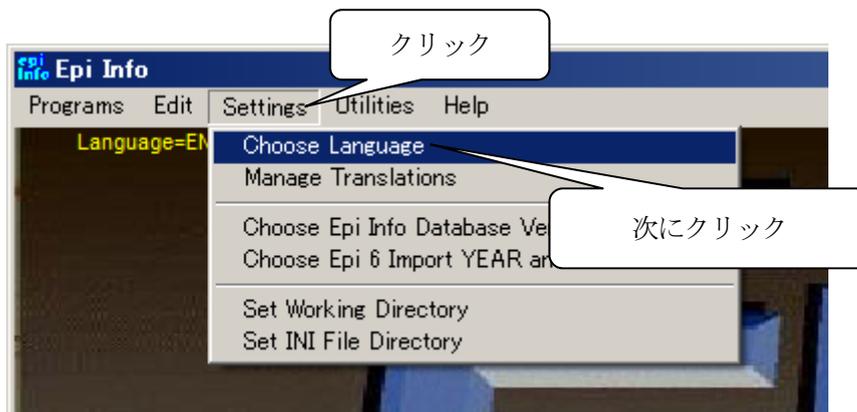
この画面が出ますので、**OK** をクリック。



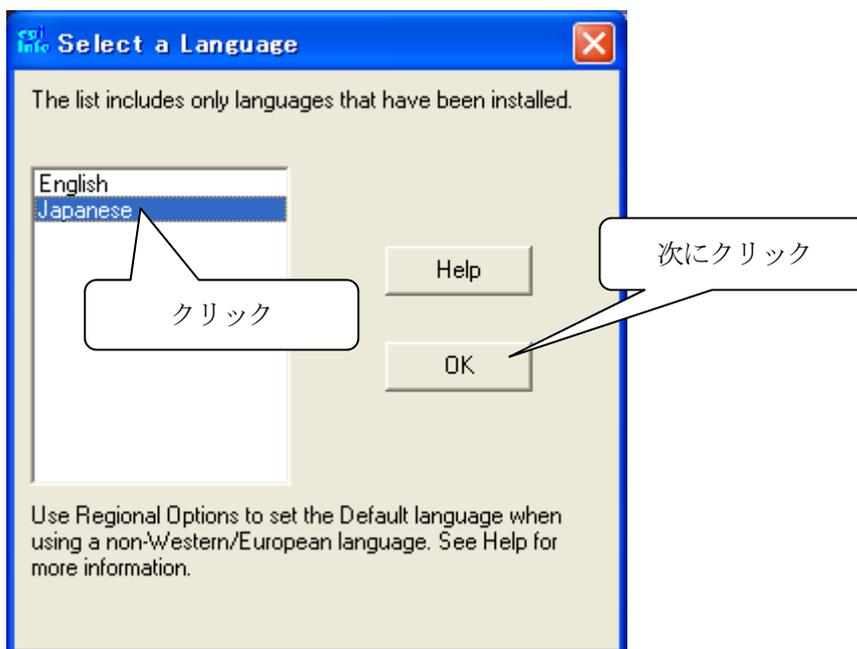
この画面が出たら設定修了です。**OK** をクリック。

これで、日本語版が Epi Info にインストールされ、Epi Info のフォルダ C:\Epi_Info に Japanese フォルダが作成されます。この Japanese フォルダ内に、英語-日本語変換用辞書 LANGUAGE.mdb と日本語版 HELP が作成されます。

次に Epi Info™ 3.5.4 英語版トップページのメニューバーのメニュー **Settings** から プルダウンメニューの **Choose Language** をクリックすると、言語選択画面が現れます。



言語選択画面の Japanese をクリックで選んで、次に **OK** をクリックしてください。



これでマニュアル表紙の Epi Info™ 3.5.4 日本語版になりました。

5つの Epi info プログラム

Windows 用の Epi info メインメニューの中にある大きなボタンは、もっともよく使用するものになります。それぞれの簡単な説明を以下に示します。

ボタン	説明
調査票作成 (Make View)	質問票やフォーム(“ビュー”と呼ばれる)がここで作成されます。入力されたデータのチェックや変数の計算に使用されるコード(コードのチェック)はこのプログラムエディターで作成されます。
データ入力 (Enter)	ここでデータが入力・編集されます。表示されるデータ入力画面は「ビュー作成」にて作られたものです。
データ解析 (Analysis)	ここでデータ解析が行われます。解析には多くのコマンドがあり一般的な統計計算、特に疫学に関連したものが行えます。グラフ作成や地図作成もここで行われます。
地図作成 (Epi Map)	Windows 用の Epi info からデータ変数を表示する地図作成プログラムは、汎用 GIS プログラムの ShapeFiles を使用することによってファイルを行います。
レポート作成 (Epi Report)	レポートのデザインや作成を行うプログラムです。元データはレポートと関連付けることができ、簡単にアップデートができます。

また Epi info ウェブサイトへのアクセスボタンと、メニュー終了ボタンもあります。